**――――――――――――――――――――――――――――――――――――**

**◆和光大学同窓会第6回総会（2017/11/4）議案書◆**

**◇2017年11月4日（土）　11　時～12時30分　　和光大学A棟4階第2会議室　◇**

**和光大学同窓会会員のみなさまへ**

和光大学同窓会

会長　打越雅祥

和光大学同窓会は、６回目の総会を開催するに至りました。

　同窓会は、これまで、作品展「おかがみ」の開催、教職志望学生支援講座、入学式・卒業式への参加、ホームカミングデー開催協力、地方支部の設立、学生研究助成金への寄付等、さまざまな活動を続けてまいりました。しかし、財政的にはひっ迫しており、同窓会費の徴収方法について、大学側と話し合いを進めていかなければならない等、課題は山積しています。

「大学の危機」が叫ばれていますが、和光大学も例外ではなく、入学希望者の減少が続き、経営のきびしさは幼小中高にもおよび学園全体に広がっています。このような時、同窓会としても、卒業生に呼びかけて学生募集の拡大を図る等、大学経営へのなんらかの支援ができればと考えています。

和光大学の母体である和光学園が教育界に与えた影響は、とても大きなものがあります。和光学園は戦争協力の反省から、反戦、民主、自由、自律の校風を築いてきました。日本生活教育連盟の本部は和光小学校内にあり、教育研究集会などでの影響も多大なものがあります。

私たちが学んだ大学、学園が存続するためにも、今、同窓会の活動をより活発なものにしていくことが必要と言えます。

財政基盤の確立とともに、今まで進めてきた諸行事を充実させるためにも、次年度の活動の大きな柱として、幹事会、評議員会の役員の増員が欠かせません。この点についても、総会で強くお願いしたいと存じます。

今総会で、より強力な同窓会としていけるよう、ぜひ皆さんのご協力をお願いいたします。

**――――――和光大学同窓会　第6回総会　議案**――――

　　　　　　　　　第一号議案　2017年度事業報告

　　　　　　　　第二号議案　2017年度決算及び、監査報告

　　　　　　　　第三号議案　2018年度事業計画

　　　　　　　　第四号議案　2018年度予算

　　　　　　　　第五号議案　2018年度役員の選出

**第**一**号議案　2017年度事業報告**

1. **第五回総会の開催**

　2016年11月5日（土）13時～15時00分　和光大学A棟4階第2会議室にて、伊東学長、樋口副学長を迎え、大学事業室職員同席の下、開催し、2016年度の活動報告を経て、2017年度の事業計画が承認されました。

　活動費としての会費収入が見込めない中、次年度予算案を示すことの困難さは年々増すばかりですが、和光大学では同窓会の規約に沿った形で、入学時に会費を集めることへの理解を得るには、今しばらく時間がかかるようです。それでも、大学案内、WAKOCIRCLE、学生生活ガイド等に同窓会のインフォメーションは定着しつつあり、大学の入学式保護者懇談会配布用封筒への同窓会案内同封の実現、大学の同窓会予算の提示など、少しずつ前進の兆しはあると言えます。

1. **大学との連携**

　2017年2月25日、同窓会担当の樋口弘夫副学長と通算6回目となる懇談を持ち、大学と同窓会の活動について報告し、意見交換しました。

樋口副学長からは、2017年度入学式保護者懇談会用の大学配布物に同窓会案内を同封するようにするとの報告がありました。その上で、同窓会としての幅広いアピールが必要ではないかというご意見をいただきました。入学式で同窓会のブースを作って新入生全体に向かってアピールする、卒業生の企業によるインターンシップ受け入れなどが話題に出、大学が考えている同窓会像の一端を伺い知ることとなりました。引き続き、樋口副学長、大学事務局と、連携を取りながら、同窓会費の大学入学時納入実現に向けて模索、努力する所存です。

**3.　同窓会の財政**

　設立総会で、和光大学入学時に永年会費2万円を納入してもらうことを決めて、

5年が経過しましたが、入学時の会費徴収が実現していないため、活動費を寄付に頼っている状態です。

　2016年10月に同窓会誌第3号を発行し、大学の協力の下、大学が連絡先を把握している卒業生、旧教職員、現役生に送付し、併せて会費納入のお願いをしました。また、2017年4月の入学式にはA4サイズ両面印刷の同窓会案内を作成し、保護者懇談会参加者への大学配布物に同封しました。さらに6月末に2017年度新入生約700名に、会報のバックナンバーと、同窓会案内を送付し、会費の納入をお願いし、20名を超える新入生から会費が納入されました。

これらの結果、120名余の方が会費を納入してくださり、ようやく、2018年度の予算が組めているのが現状です。

同窓会のお願いに応えて　会費や、寄付をお寄せいただいた方々に心から感謝します。引き続き、会の財政を支えていただけますよう、お願い申し上げます。

　寄付、会費を集める努力と並行して、大学入学時の会費納入の道を探ることも次期の重要な課題だと認識しています。

**4.卒業式、入学式への参加**

　2017年3月18日に行われた修了証書授与式祝賀パーティでは会場に「祝ご卒業」の横断幕を掲げ同窓会会長の祝辞を事務局が代読しました。

　2017年4月3日に行われた2017年度入学登録式では、会場に盛花を贈りました。

**5.五つの貢献事業**

**5-1.卒業生への貢献**

地方支部設立の動き

「地方支部の設立につながる卒業生の集いを大学の協力を得ながらサポートし実現させる」―この柱について重点的に取り組んだ結果、**山梨支部**につづいて**北海道支部**、**沖縄支部**設立の動きが具体化された1年となりました。

2016年11月26日(土)の札幌で北海道支部設立のための準備会を開きました。田畑博さん（44Ｅ）須川康寛さん（45Ｌ）と同窓会役員の大沢清（45Ｌ）の3人が集まり、自己紹介から今まで歩んで来られたそれぞれの思いを語り合いました。田畑さんからは他にも旭川で活躍している女性がいることや浦河町で現職の町長をやっている池田拓さん（48Ｈ）などもいらっしゃることが話され、ぜひ次回は北海道在住の卒業生によびかけて北海道支部をぜひつくりましょうということになりました。呼びかけ代表に田畑博さんが決まり、今年11月25日（土）支部結成総会をひらこうと準備に入っています。

沖縄支部結成のための準備会が2017年6月12日（月）の夜那覇市内で開かれました。古波津肇さん（48Ｅ）新里孝さん（53Ｌ）池村博隆さん（53Ｅ）と大沢の4人が集まりました。沖縄在住の3人にとっては和光で学んだことが青春の原点、人生にとっての大きな出発点になっていたと熱く語られていました。沖縄には和光大と沖縄大学との単位交換制度で学んだたくさんの和光関係者もいることがわかっており、沖縄支部結成のよびかけをおこなえば、たくさんの卒業生が集まると話していました。準備会の代表に新里孝さんを決めてこれから結成に向けて動きを作っていこうと誓い合いました。

この他にも九州、福岡方面を中心に九州ブロック関係者に呼びかけ福岡県在住の岩屋湊さん（43Ｅ）を中心に動きを作っていこうとしています。

　これらの動きをいっそう加速させていくためにも次年度もひきつづいて重点課題として位置づけて取り組みを強めていくつもりです。

同窓会は2015年に大学事務局と合意した地方在住卒業生情報~~の~~提供を活用して地方在住の卒業生の交流が進むことをサポートします。

　芸術学科の卒業生による実行委員会を立ち上げ、和光大学同窓会会員資格のある人なら誰でも参加できる**和光大学同窓会作品展第3回「おかがみ」**を2016年11月27日から12月3日まで、和光大学内パレストラ4階展示場にて実施しました。初めて学祭をはさまない時期に実施しましたが、来場者が減少しました。出展者38名でしたが、新しい出展者を募ることが課題です。

**5-2大学への貢献・5-3学生への貢献**

　　　2014年より、同窓会の方針にある5つの事業のうち、標記の事業について何ができるかを検討してきました。検討の結果、現在の役員で実施可能な事業として担当者を置き、教員希望者の学生を対象にした「教職支援」の講座を実施することにし、職業しての教員の魅力や採用に向けての準備などを伝える講座を実施することになりました。2014年6月に第1回を企画し、キャリア支援室の協力を得て2015年の1月に実施しました。

2015年には、昨年と同様の内容で、9月24日に第2回目を案内掲示を出し、大学のHPに載せて、実施しました。

2016年には2回の実施の反省から参加者が少なかったので担当で再検討し、講座を三日間にわたり昼休みに実施しました。

2017年には大学側に実施についての協力を申し入れ、講座を９月に実施する予定**で**す。この間、同窓会が教職支援を企画する意義、講座の講師についての疑問が大学側よりありましたので、今年度は講師紹介を兼ねて教職体験を語る「シンポジウム」を計画しています。今後、人員の見通しが立てば、他の職種についても同様の企画を予定しています。

　同塵会時代から続いている**和光大学学生研究助成金への寄付**を行いました。金額は昨年同様10万円としました。

　**学生支援募金に**支援をいただいた皆様方にはたいへんありがとうございました。今日、和光大学生の経済状況は厳しさを増しているようです。大学関係者から**、**親の介護離職や、失業などのかつてはあまり考えられなかったような理由で、卒業に必要な単位を満たしながら、最終学年後期の学費が納められず、中退していく学生が毎年いると聞いたことがきっかけとなり、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の気持ちで学生支援募金を企画しました。学生支援募金を呼び掛けてから3年経ちますが、寄せていただいた額は計22万9千円となりました。

　皆様のお心が十分に生かされ、真に学生の助けになる使途を慎重に考えて行く必要を感じています。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

**5-4.地域への貢献・5-5.社会への貢献**

2017年度も特に取り組めませんでした。幹事の人数的にも限界があることは否めません。社会や地域と繋がることは和光大学の姿勢でもあるので、今後の課題としたいと思います。

**6.　同窓会事務局**

　毎週1回事務局長が、同窓会事務室に出向き、大学や、卒業生との連絡、幹事会の活動支援に努めると同時に、副会長から事務局補佐を1人立て、事務局の仕事をシェアしました。

また、幹事会メンバーの中から、HPの整備や更新専門の従事者をお願いしましたが、

　　　SNSの発達に伴い、広報担当事務局員の必要性を感じた1年でした。

1. **和光学園との連携**

和光学園理事会、和光学園評議員会に幹事会から代表が参加しました。

1. **広報活動**

　ネット世代と紙媒体世代の両方に同じ比重で発信することをこころがけました。

　ＨＰ：同窓会に寄せられた文章、催し物を掲載しました。作業を幹事メンバーが担い、更新を随時行いました。

　会報：2016年10月中旬にA4版12ページの「同窓会報」第3号を発行し、大学の協力を得て卒業生、旧教職員、在校生等に発送しました。

201**7**年4月にＡ4版両面カラー印刷の「同窓会案内」を発行し入学式の後の保護者懇談会参加者に配布しました。

**9.　活動日誌**

幹事会　9月・10月・11月・12月・2月・4月・5月・6月・7月・8月

計10回

　評議員会　9月　1回

　作品展「おかがみ」実行委員会・和光大学学生研究助成金研究報告会・和光学園同窓会懇親パーティ入、卒業祝賀パーティ、和光学園創立記念パーティに和光大学同窓会代表として幹事が出席。

**第二号議案　2017年度決算及び、監査報告**　　　※別紙

**第三号議案　2018年度事業計画**

**1.6回総会の開催**

**2.同窓会費代理徴収実現に向け、大学への働きかけを強化する。**

**3.五つの事業の内、以下を重点的に取り組む**。

A=卒業生：

* 1. 地方支部の設立と活動支援
	2. 第4回作品展「おかがみ」の開催
	3. 教育・福祉関係就業卒業生の交流の実現
	4. 和光大学ホームカミングデー2017への協力

　 B=卒業生

1. 第4回教職志望学生支援講座の実施
2. 卒業生の会社の説明会への参加促進
3. 卒業生の会社にインターンシップ制への参加促進
4. 和光大学学生研究助成金への寄付
5. 学生支援募金の継続と使途の検討

**4.広報活動の充実**

* 1. HP・SNSなどネット関係記事の更新、アップの定期化
	2. 会報第5号の発行
	3. 可能な限り大学発行物に同窓会文書を同封していただく
	4. 同窓会案内パンフレットの新規作成

**5.同窓会役員の増員・強化**

**6.事務局体制の強化（アルバイトの活用）**

**⑦.規約改正：総会の隔年開催の検討　解任規約等　他**

**第四号議案　2017年度予算**　　　　　※別紙

**第五号議案　役員の選任**

◇幹事一覧（第2期）



◇評議員一覧（第2期）



◇会計監査（第2期）